

一般質問発言通告表

向日市議会 令和7年第1回定例会

令和7年3月5日

質問順	会 派 名 氏 名	質 問 事 項 (要 旨)
1	日本共産党議員団 米 重 健 男	1 京都アリーナ（仮称）について 2 第3次ふるさと向日市創生計画について 3 防災訓練について
2	日本維新の会 無所属の会 松 本 みゆき	1 ZET-valley 構想について 2 東向日駅周辺における阪急京都線連続立体交差化について 3 寺戸区のため池の在り方について 4 不登校・引きこもり支援について
3	自 民 ク ラ ブ 米 澤 知 紀	1 障害福祉サービスにおけるセルフプランの限定的導入について 2 ひきこもり状態にある方の支援について
4	公明党議員団 富 安 輝 雄	1 市民を守る防災対策・安全対策について
5	MUKOクラブ 近 藤 宏 和	1 本市の小中学校 今後のあり方について 2 報道等で不安視されている事項について
6	明日の向日 杉 谷 伸 夫	1 アリーナ問題について 2 向日市の緑の保全について 3 マンション管理適正化推進制度について
7	日本共産党議員団 山 田 千 枝 子	1 老人福祉センター桜の径のお風呂及び市民温水プールの温浴設備や学校のプール利用について 2 5・6年生の留守家庭児童会の対策及び諸問題について 3 万博への無料招待の本市小中学生の安全対策を説明できるか 4 終活相談窓口の設置などについて
8	日本維新の会 無所属の会 村 田 光 隆	1 宅配便の再配達ゼロを目指して 2 災害時の遺体安置所の確保について 3 車中泊避難を余儀なくされる方について
9	公明党議員団 福 田 正 人	1 高齢者支援について 2 ぐるっとむこうバスについて
10	MUKOクラブ 和 島 一 行	1 動物の譲渡会を向日市でも 2 投票率アップの施策について

1 1	明日の向日葵 林 リエ	<ol style="list-style-type: none"> 1 こどもの健全なる成長を市としてどう伴走していくのか 2 本市の防災力の現状を市民に伝える必要性について
1 2	日本共産党議員団 北 林 智 子	<ol style="list-style-type: none"> 1 みんなで支えるヤングケアラー支援に取り組むことについて 2 小中学校及び市の公共施設のトイレにトイレットペーパーがあるように生理用品を設置することについて 3 高齢者のみなさんが生きがいをもって安心して暮らせるまちに
1 3	日本維新の会 無所属の会 長谷川 愛	<ol style="list-style-type: none"> 1 一人暮らし高齢者の見守り支援 2 女性起業支援について
1 4	日本共産党議員団 丹 野 直 次	<ol style="list-style-type: none"> 1 物価高から（暮らし）応援する財政運営について 2 不登校支援・フリースクール支援する取組みについて 3 「ぐるっとむこうバス」の利便性向上にむけた取組みについて
1 5	日本維新の会 無所属の会 青 山 まゆみ	<ol style="list-style-type: none"> 1 ケアラー支援について 2 マイナンバーカードについて 3 ワンストップサービスについて 4 防災関連について

一般質問通告書 (総括)・分割)

質問者氏名	米重 健男	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項 (質問の要旨)		
1, 京都アリーナ (仮称) について	<p>前回に引き続き京都アリーナ (仮称) について伺う。</p> <p>1, 市の緊急要望書について</p> <p>① 府道向日町停車場線の整備要望がないのはなぜか。</p> <p>② 物集女街道整備について</p> <p>③ 市民の不安の声を代表して府に伝えていただくことについて</p> <p>④ 東向日駅前等の整備について</p> <p>⑤ 京都府からの回答について</p> <p>2, 説明会の必要性和時期について</p> <p>3, 具体的な内容がわからないまま誘致を推進することは無責任にならないか</p> <p>4, 市の体制について</p>		
2, 第3次ふるさと向日市創生計画について	<p>本計画の内容及びその位置づけについて伺う。</p> <p>1, 計画の位置づけについて</p> <p>① 議会の審議に附することについて</p> <p>② 計画の位置づけについて</p> <p>2, 施策の柱について</p> <p>3, 土地利用について</p> <p>① 居住地ゾーンについて</p> <p>② 中心にぎわいゾーンについて</p> <p>③ 交流にぎわいゾーンについて</p> <p>④ 丘陵緑地ゾーンについて</p> <p>⑤ 維持活用ゾーンについて</p> <p>⑥ 各ゾーン間の接続地域について</p> <p>4, 各施策分野について</p> <p>① 都市基盤の整備において、現行の開発地域や京都アリーナ (仮称) はどのような取り扱いとなるのか。</p> <p>② ゼロカーボンシティの実現と ZETvalley 構想との関係性や連携はどのような様になっているか。</p> <p>③ 自治体 DX の推進及び情報発信の充実において、デジタルディバイド対策はどのように考えているのか。</p>		

3, 防災訓練について

本年1月26日に向日市防災訓練が行われた。同日の朝から乙訓消防組合において向日神社にて文化財防火運動に伴う消防訓練が実施された。今年の消防訓練については向日消防署の担当する年でもあり、消防団をはじめ参加された方には忙しい一日となったとお聞きする。今回の質問では防災訓練の内容等について参加された市民からお聞きした話にもとづき市の対応等を伺うものである。

1, 日程等について

今年の防災訓練は、消防訓練と同日に行われており、消防団などで両方に参加される方にはスケジュールがなかなかタイトであったとお聞きする。また、時間の都合上、両方の参加が難しい方もおられたのではないだろうか。同日開催となった理由はなにか。また、開催される際に自治会などとは事前に調整を行ったのか伺う。

2, 訓練で使用した物品等について

本番を想定した実践的な訓練と言うことでお聞きしているが、訓練に供された受付用紙などの書類が訓練用のものなのか本番用のものなのか判らないとのご意見があった。訓練のみに使用するものと本番で使うものとの区分はどの様になっていたのか伺う。

3, 子どもや要介護者の対応について

当日の訓練においては自治会を中心とした地域の防災委員などが主体であったが、子どもや要介護の高齢者の参加はどうであったか。訓練会場によっては参加する市民層に偏りも見られると考えられるが、実際の避難の際もそうであるとは限らない。子どもや要介護者への対応について訓練での取り扱いはどの様になっていたか伺う。

4, 感染症罹患者や慢性疾患を持っている避難者の扱いについて

コロナ禍を経て、避難所における感染症対策の強化が図られているところであるが、訓練の中で、発熱や体調不良のチェック・隔離までは行っても、別室に移した後の経過観察や、その後の対応などで、どの様にするのかが判らないとのご意見があった。医療的な処置の必要な場合等も含め、訓練及び本番での対応について伺う。

一般質問通告書 (総括・分割)

質問者氏名	松本 みゆき	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項 (質問の要旨)		
1. ZET-valley 構想について	<p>脱炭素テクノロジー関連スタートアップ企業と事業会社等の交流、まちづくりへの技術導入等を促進する拠点「ZET-valley」の形成による最先端技術を用いたゼロカーボンものづくりによる新事業創出・社会実装を推進する ZET-valley 構想について伺う。</p> <p>1. 日本初の EnePOND®EVCharger の導入について サミットでお披露目された EnePOND®EVCharger は、向日市役所をスタート拠点として日本初から世界初へと注目される社会実装実験となる。市の財政的負担をほとんどかけずこのような素晴らしい成果を挙げることができ大変評価する。これまでの背景や努力についてお尋ねする。</p> <p>2. ZET-valley 初の拠点「ZET-BASE KYOTO」について ZET-valley 構想初の拠点がこの4月向日市寺戸町にオープンされることとなり地元としても大変誇らしい。たとえば脱炭素関連共創プロジェクトの実装を市民の皆さまに協力してもらったり、市民講座を開催するなど市民により広く認知・啓発につながるような取り組みを関係機関と連携して行って頂きたいがいかがか？</p>		
2. 東向日駅周辺における阪急京都線連続立体交差化について	<p>JR 向日町駅と阪急東向日駅は、本市の玄関口として交通及び都市機能等の面で中心的な役割を担っている。また、アリーナ建設に伴って東向日駅周辺における阪急京都線連続立体交差化については市民の期待がさらに高まっている。本構想について山積する現状の課題を理解したい。</p> <p>1. 今後の見通しについて 近年、当該周辺地域においては環境の変化や、物価高騰などの経済的変動等が見受けられる。平成 29 年度から 2 ヶ年で実施された予備調査以降、どのような影響や課題があると考えているか？当該構想の進捗の現状と課題について伺う。</p>		
3. 寺戸区のため池の在り方について	<p>農地の減少などによって農業用水としての利用は大きく減ってきているが、地域を守り平和な暮らしを築くには「治水」</p>		

	<p>の考えが欠かせない。『都市型水害』や『内水氾濫』の被害を防ぐためにも治水のあり方について伺う。</p> <p>1. 寺戸区のため池の治水的役割について ため池は、農業用水として貴重な水源の役割を果たしているとともに、大雨が降った時に雨水を一時的にため込み、下流域の氾濫を防ぐ役割がある。気候変動の影響により、今後においては、より一層市内の雨水流出を抑制するため治水的役割を果たすべき重要な施設になると考える。市としては、ため池の治水的役割についてどのように考えているか？</p> <p>2. 維持管理のための体制強化について 現在は利水の活用については水量の管理や調節等も含めて主に農家組合さんが中心となって管理されている。しかしながら、農家組合さんの高齢化が懸念される。特に有事の場合の治水としてのため池の役割はさらに重要であると考えており、治水と利水を含めた行政からの支援や協力を強化していただきたいがいかがか？</p>
<p>4. 不登校・引きこもり支援について</p>	<p>現在京都府においては、いじめ防止・不登校支援等総合推進事業において不登校対策の充実に取り組まれており、また本市においても不登校児童生徒支援システムを構築するべく、校内に教室以外の居場所を設けることで、教室に入りづらい・休みがちな児童生徒個々の状況を見立て、個に応じた学習支援・相談と小・中学校を通し切れ目のない支援を実施していただいているところであり、以下伺う。</p> <p>1. 向日市としての不登校対策の現状について 現在、本市においては勝山中学校ブロック内において不登校児童生徒支援システム構築事業に取り組んでいただいているなど、京都府の研究指定を受けている。本市における不登校の対策の現状について伺う。</p> <p>2. 校外フリースクールとしての民間連携について 教育委員会として要件を満たす民間施設を子どもたちの第3の居場所として、学校と連携し出席扱いも可能とするなど連携を行って頂き、子どもたちや養育者の精神的負担の軽減を図り、また子どもたちにより多くの選択肢を提供できるようにしていただきたいと考えるがいかがか？</p>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米澤知紀	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 障害福祉サービスにおけるセルフプランの限定的導入について	障害福祉サービスを利用する際に必要となる計画相談支援について、相談支援専門員の不足や、利用者の自主性が反映されにくいといった課題がある。この課題に対し、一定の条件のもとで「セルフプラン」を導入し、迅速なサービス提供や、利用者の意向を反映した支援体制を構築することが有効と考えるが、本市の見解を伺う。		
2. ひきこもり状態にある方の支援について	ひきこもりは、家庭の問題、経済的困難、精神的な健康問題、人間関係のトラブルなどが複雑に絡み合う状態であり、医療や福祉の枠組みだけでは対応が難しいことが多い。そのため、行政の支援体制の強化が求められている。より効果的な支援体制を構築するため、以下の点について伺う。 ① 複数の課題を抱える人の中で、ひきこもり状態にある人も含めて実績を把握し、施策に反映することについて伺う ② 社会福祉協議会に窓口を設置し、相談しやすい環境を整備することについて、本市の見解を伺う ③ ひきこもり支援の支援者向けハンドブックが作成されているが、本市では今後どのように活用していく予定か伺う		

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	富安輝雄	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 市民を守る防災対策・安全対策について	<p>1. 路面下空洞調査について</p> <p>埼玉県八潮市において、県道交差点の道路陥没によりトラックが転落する重大事故が発生したことを受け、本市の状況について以下お伺いする。</p> <p>① 本市でも、下水道や道路インフラの老朽化が進んでいると考えられるが、現在、道路陥没のリスクについてどのように認識しているのか、市の見解をお伺いする。</p> <p>② 本市の道路点検について、現在どのような方法で実施しているのか。また、道路の路面下の異常を確認するための調査は、これまで実施したことがあるのかお伺いする。</p> <p>③ 本市の下水道幹線管渠は、およそΦ400^{ミリ}から下流へ徐々に太くなり、流域下水道幹線への接続箇所ではΦ1000^{ミリ}程度になっていると認識している。下水道管については下水道長寿命化事業として、下水道管口・本管テレビカメラ調査を計画的に行われていることは承知しているが、下水道管や水道管、ガス管等の老朽化が進むと、その周囲の地盤が緩み、空洞が発生するリスクがある。全国的に導入が進む地中レーダー調査を本市でも採用し、危険箇所を事前に特定することで、未然に大規模陥没事故を防ぐべきではないか？本市の市民の生命・財産を守るため、速やかに路面下空洞調査の計画を立て、定期的に調査を行うべきと考えるがいかがか、市の見解を伺う。</p>		

	<p>2. 大雪時の融雪剤の確保と対応について</p> <p>① 今回の大雪において、市が確保していた融雪剤はどの程度の量を用意したのか？また不足は発生しなかったか。</p> <p>② 設置された融雪剤が不足した場合、市はどのように追加供給を行うのか？</p> <p>③ 市民は府道の凍結についても市役所へ連絡することが多いと思うが、市としてどのように対応しているか？また乙訓土木事務所との連携を強化するための仕組みはあるか？</p> <p>④ 融雪剤の不足時に備え、近隣の事業所、コンビニなどに融雪剤を分散配置させてもらい、必要時に使用できるような仕組みを検討してはどうか？</p> <p>⑤ 市民が緊急時に融雪剤を確保できる仕組み（例：市役所・公民館での配布など）を構築することは可能か？</p>
	<p>3. 災害発生時における避難所等の通信確保について</p> <p>大規模災害発生時における避難所等の通信確保のため、指定避難所等への衛星インターネット機器等の新技術の導入が望まれるが、技術の進展に応じた新しい通信サービス・機器について、その迅速な立ち上げと継続的な運営を地域が自ら円滑に行えるよう、新しい通信技術に関する訓練（機器の設置、設定維持・管理等）を修了した者や無線従事者免許取得者等、地域ごとに無線技術に知見のある者を中心とする体制整備（仮称：通信復旧支援チーム）を行い、発災後に通信設備の被災状況把握や通信環境確保等を迅速かつ継続的に行う取組を検討すべきであると考えがいかがか、ご見解を伺う。</p>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	近藤 宏和	所属会派名	MUKO クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 本市の小中学校 今後のあり方について	様々な変化に対応できるように、未来像について議論を始める必要がある。 ①プール授業 今後のあり方について ②校内フリースクールについて ③部活動の地域移行について		
2. 報道等で不安視されている事項について	各地で発生している事項について、本市の現状を共有する必要がある。 ①災害関連死について ②有機フッ素化合物（PFAS）について		

	③埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえて
--	---------------------

一般質問通告書（~~総括~~・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. アリーナ問題について	<p>アリーナについて、京都府はまもなく事業者と契約の予定です。しかし向日市民にとっては、昨年6月に住民説明会が行われて以降、様々な不安に対する説明も情報提供も無いままです。</p> <p>(1) 説明責任について 交通渋滞・周辺環境への影響を検討できるよう、京都府に基本的な資料の提供を求めるべきではないか。</p> <p>(2) 道路整備について 京都府への緊急要望書には、鉄道駅からのアクセスが最も集中する府道向日町停車場線については含まれていない。どうしてか。</p> <p>(3) 交通渋滞問題 ①市民生活への交通渋滞の影響について、向日市は現時点でどのようにお考えか ②西脇知事は「周辺の道路における交通量の調査や交通課題の分析などを実施している」と答弁した。積極的に情報提供を求め、議会へ報告頂けるか。</p> <p>(4) 手続きについて 京都府は公共事業の実施に当たっては事前評価を実施する制度を設けている。アリーナ整備事業もその対象になるとの指摘があるが、京都府は実施していない。一旦計画は止めて、事業評価を行うよう、京都府に求めるべきではないか。</p>		
2. 向日市の緑の保全について	<p>近年、市街化調整区域の農地の開発が次々に進められ、貴重な緑地空間が失われつつある。そこで、向日市の緑の保全にむけた方針を聴く。</p> <p>(1) 向日市の「緑の基本計画」の進捗状況と今後の見通しについて ①緑地の確保目標、都市公園・その他の一人当たり</p>		

	<p>公園面積の確保目標について</p> <p>②緑の基本計画の進捗管理について</p> <p>③緑の基本計画の進捗状況や成果に関する情報を公開することについて</p> <p>④計画の実効性を高めるために、市民参加を進めることについて</p> <p>(2) 向日市の最上位計画である「ふるさと向日市創生計画」に、「緑の保全」のための施策が掲げられていない。施策の柱に加えるべきではないか。</p> <p>(3) 緑の基本計画では、「市街地を取り囲む農地の緑地としての存在価値を再評価し、田園風景として、またこれからの新しい市民交流の場として活用することで持続的保全をめざす」とされている。向日市としての保全にむけた方針について</p>
<p>3. マンション管理適正化推進制度について</p>	<p>2022年、自治体がマンション管理適正化推進計画を策定し、適正なマンション管理を促進する努力義務が課せられました。その主な内容は、</p> <p>①マンション管理計画認定制度の創設</p> <p>②管理不全マンションへの対応強化</p> <p>③管理組合や住民への支援</p> <p>④データ収集と住民への情報提供</p> <p>(1) 向日市内のマンションの実態は？実態調査を行って頂きたいがいかがか。</p> <p>(2) 向日市のマンションの現状について、どのような課題意識をお持ちか。</p> <p>(3) マンション管理計画認定制度の導入について 自治体は、マンション管理適正化推進計画を定めた上で、マンション管理計画認定制度を創設することができるようになった。向日市においても、有利な制度が準備されているマンション管理計画認定制度導入の検討を進めて頂けないか。</p> <p>(4) 以上の課題解決のため、マンション管理適正化推進計画に早急に取り組むことを求めたいがいかがか。</p>

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	山田千枝子	所属党派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 老人福祉センター 桜の径のお風呂及び市民温水プールの温浴設備や学校のプール利用について	<p>コロナ禍の4年前、桜の径のお風呂が中止された。①桜の径のお風呂の改修計画を行って頂きたいがどうか。市民温水プールも今後実施設計される。プールありかた検討会議のまとめにプール以外の整備に関する意見に温浴設備（お風呂・ジャグジー）とあり、プール利用者以外も利用できる使用用途を設定しないフリースペース（必要最低限に整備）とあった。②温浴設備などを実施設計に挿入される予定か。③プールに高齢者の歩行訓練のレーンを設けて頂きたいがどうか。④老朽化している小中学生のプール利用はどのように検討しているのか。</p>		
2 5・6年生の留守家庭児童会の対策及び諸問題について	<p>令和7年1月末現在の入所数は、5年生42人・6年生は15人で合計57人。来年度新規事業に5・6年生の対応策が提案されているが、質問する。①今年度の留守家庭児童会4・5年生の保護者と担当課との懇談を持つことが必要だと考えるがどうか。②5・6年生の居場所は自習室だけでなく、遊んだり、運動したりする場所が必要だ。予算案の図書室やコミセンだけでは思い切り遊べる場所にならないのではないかと。指導員も配置して頂きたいがどうか。③学校が一番いい。運動場などがある。学校の教室なども利用できないか。④現在の4年生までの留守家庭児童会の夏場の昼食の改善はどうか。⑤保護者から指導員が短期で退職されていると聞く。ベテラン指導員が新指導員にノウハウを継承し、継続して勤務できるための市の指導や援助や研修などできているか。</p>		
3 万博への無料招待の本市中学生の安全対策を説明できるか	<p>跡地はカジノ建設を目的とした夢洲の大阪関西万博会場、開幕まで約1か月余り。そのもとで参加は本市小学生は5・6年、中学は2年生のみだが教育的にも万博参加は意味があるとのこと。しかし災害対応や事故防止など安全面が不十分だ</p>		

	<p>と考える。大阪府吹田市長が万博に生徒を参加しないと決められた時の責任ある発言にうなずいた。「会場の安全性を保護者に説明できない。熱中症対策や災害時の対応、救護所の状況について満足できる回答はなく、安全面の確認ができなかった。夏の暑さはドライアイスでは対応できない。熱中症の患者は必ず出る。参加したいと思っていたので残念だ。」といわれた。大阪府内でも参加しない自治体が多数ある。①参加予定の学年の子どもの保護者に市長及び教育長は会場の安全性を説明できるか。②今回の参加日時は各学校毎なのか、学年毎なのか、参加学年は何月ごろ行く予定か。また参加日時に合わせて教職員の下見はいつされるのか。</p>
<p>4 終活相談窓口の設置などについて</p>	<p>1月16日に厚生常任委員会で東京都豊島区にある終活あんしんセンターの視察に行ってきた。高齢社会に向けた「としま総合戦略」に日本一の高齢者にやさしいまちへと位置づけられ、一人暮らしは「社会的孤立」を生みやすく、不健康や消費者被害、生活の質の低下などにつながる恐れがあるとし「一人暮らしでも安心」いざという時の安心をサポートする事業として終活サポート事業に取り組み、本市でもこのような事業に取り組むことを提案し質問する。豊島区は令和3年に豊島区民社会福祉協議会に委託し、終活相談業務や登録・普及開発など終活あんしんセンターを設置し、終活業務の活動に取り組んでいる。相談数は年々増えている。あんしんセンター利用の方にはエンディングノートが渡され、法的拘束力はないことは明確にされているがいろんな参考になっている。①終活に関する多種多様な相談に対応できる体制をつくって頂きたいがどうか。②終活センター的な事業を行って頂きたいがどうか。③終活についての講演会などの開催を行って頂きたいがどうか。</p>

一般質問通告書(総括)

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項(質問の要旨)		
1. 宅配便の再配達ゼロを目指して	<p>新型コロナウイルスの流行により、自宅で商品を受け取ることができる宅配サービスの需要が一気に高まった。同時にトラック運転手の不足により、一人当たりの荷物の量は増え、原油高による燃料費の高騰も重なり、運送業界は疲弊する一方である。</p> <p>宅配需要の高まりとともに再配達も増え、燃料の消費と労働時間も増え、環境にもやさしくない。</p> <p>狭い道しかない本市でも、宅配業者の駐車により道が塞がれてしまう事例が見受けられる。</p> <p>市民にとっても、業者にとっても、運転手にとっても、環境にとっても誰にとっても良くない事態である。</p> <p>そのような中、国土交通省を始め、様々な自治体で再配達削減に向けた取り組みが行われている。</p> <p>本市においても、宅配ボックス購入の補助および活用の啓発を行う必要があると思うが、ご所見をお伺いする。</p>		
2. 災害時の遺体安置所の確保について	<p>今年で阪神淡路大震災が発生して 30 年を迎え、災害に備える意識が高まり、自治体でも様々な防災・減災に取り組んでこられた。</p> <p>避難所や食料・医薬品の確保等生存者への支援に目が行きがちであるが、不幸にして亡くなられた方とご家族への支援を想定している自治体は少ない。</p> <p>大規模災害時、生存者対応で手いっぱいあまり、身元確認作業に手が回らず、死者を丁寧に扱うことや、死者の尊厳を守ることがおろそかになる可能性がある。</p> <p>火葬場のない本市では、火葬までの時間が長期化する恐れがある。</p> <p>亡くなられた方のための安置所や保存するための物資の備え、避難をされている遺族が安置所へ通うための配慮等必要と考えるが、本市のご所見をお伺いする。</p>		

<p>3. 車中泊避難を余儀なくされる方について</p>	<p>災害時、避難される方全員が避難所を希望されるわけではない。</p> <p>様々な事情で、在宅避難や車中泊を選択される方がいる。</p> <p>各自治体も車中泊を推奨しているところもあれば、そうではないところもあり、対応は様々である。</p> <p>本市においても推奨する、しないにかかわらず、災害時に一定数の車中泊避難者が発生することが想定される。</p> <p>その際、無秩序に車中泊が市内各地で発生すると、避難者の数が把握できないばかりか、支援の妨げにもなり得る。</p> <p>車中泊避難への対策が必要だと思うが、ご所見をお伺いする。</p>
------------------------------	---

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 高齢者支援について	<p>生活困窮者自立支援法の改正が令和6年4月17日に成立した。今回の改正のポイントは「居住支援」という言葉が入った事である。そこで質問する。</p> <p>① 不動産事業者や NPO 法人が連携する住居支援協議会が市の努力義務となった。本市の取組について伺う。</p> <p>② 改正案では、就労準備支援・家計改善支援の実施と質の向上が明記された。本市の取組は如何か。</p> <p>③ また、生活保護受給者が生活困窮者向けの就労準備支援・住居支援・家計改善支援を一体で利用できる仕組みの創設が明記された。本市の取組は如何か。</p> <p>④ さらに住居支援事業が、地域の実情に応じた支援の努力義務化となった。本市の取組は如何か。</p> <p>⑤ 住宅確保給付金において、家計改善のための家賃低廉な住宅への転居費用補助の創設とあるが、本市の取組を伺う。</p> <p>⑥ 平成12年の建設基準法改正前では、集合住宅やマンションの階段の手すりが義務化されてなく高齢者の転倒防止のための対策が必要と考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>⑦ 高齢の方が重い買物袋を持ち、道端に座り込んでおられる光景を見かける。歩いては休みの繰り返しをされている。転倒による骨折が発生している。そのための支援として75歳以上の方に、買い物と歩行の支援としての買い物カート購入の支援について伺う。</p>		

2. ぐるっとむこうバスについて	<p>本市の公共交通である「ぐるっとむこうバス」が運行を開始して5年が経過した。過去を振り返り、今後の運営について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">① 今後の乗客数の目標と地域公共交通会議を受けて、乗客数をアップさせるための取組について伺う。② 今後さらに市民の要望にマッチさせる運行となるようにアンケートを実施されては如何か。③ 今後ますます高齢化する本市にあって、市民の移動の手段である民間バス事業者と本市バスの連携が必要であると考えが如何か。④ デマンド交通は時刻通りに運行されるのではなく、利用者の予約で運行される。予約のない時は運行されない。これは経費の節減につながる。さらにバスの形態を軽車両にし、運転手の採用の定年退職された経験豊かな人材を募集し、運転講習と健康管理のもとで有償もしくはボランティアで行っては如何か。更に電気自動車の採用でカーボンニュートラルの観点からも良いと考えるが見解を伺う。⑤ 併せてライドシェアーに対するお考えを伺う。⑥ 京都アリーナ完成に伴う本市公共交通の変化についての考えを伺う。
------------------	---

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	和島 一行	所属会派名	MUKOクラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 動物の譲渡会を向日市でも	<p>本市の公民館（公共施設）では動物を館内に持ち込むことはできなくなっている。他市では公民館（公共施設）内での動物の譲渡会が開催されている。ぜひ本市の公民館（公共施設）でも動物の持ち込みができるよう希望する。</p> <p>令和3年6月から始まった飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助事業のおかげもあり向日市ではのら猫が大幅に激減している傾向であると考えます。</p> <p>そこで保護猫活動で不妊・去勢手術したあと、元居た場所にリリースする猫もいれば、すぐに里親が見つかる場合もあり様々である。里親が見つからない場合は猫のシェルターがあるわけでもないので預かりさんに頼むしかないが、その預かっている期間が長くなれば成猫になり需要が減ってしまう。</p> <p>本市の預かりさん宅には10頭以上預かっているお宅も複数あり、早く里親につなげて幸せになってもらいたい一心で他市の公共施設（ガレリアかめおか、大山崎ふるさとセンター、長岡京市産業文化会館）まで行き、譲渡会を開催している。</p> <p>さて、保護猫団体は何に費用がかかるかというと、先ず預かりさん宅にいる猫の餌代である。そして病気を持っていたら治療費、譲渡会の案内のチラシ作成費、会場費、運搬費等である。寄付もそんなに多くはないのでほとんど自腹で賄っているのが現状である。</p> <p>そこで本市の公民館管理運営規則を確認すると、動物のことはどこにも謳っていないのである。しかも第2条の（5）社会教育団体及び公共団体の集会等の利用に供すること（6）その他社会教育推進に必要な事業と記されている。</p> <p>また動物愛護、保護猫（犬）団体は動物の保護や救助、譲渡、啓発活動を行うれっきとした社会教育団体であるということから、この規則に沿っているのではないかと考える。何とか向日市の公民館で保護猫譲渡会が開催でき、預かりさんの負担軽減ができ、里親のもとで保護猫が幸せになるよう強く要望するが見解を訊く。</p>		

2. 投票率アップの施策について	<p>近年の選挙では年々投票率が下がってきている傾向にある。2023年の私たちの市議会議員選挙での投票率は38.52%であった。市長選挙では34.83%という低投票率であった。投票率アップの問題は本市のみならず日本全体のテーマである。</p> <p>昨年行われた衆議院選挙では53.85%と有権者のほぼ半数しか投票していない。まさに5割民主主義である。これは民意を正しく反映しているとは言い難いことである。向日市議選、市長選はこれを大幅に下回るという危険な状態である。</p> <p>では投票率を上げるために、たくさんの議員が質問をし、選挙管理委員会も頑張ってもらっている。現在の投票所は選挙管理委員会がいろいろと考え、先般よりどの投票所でも投票が可能になったことには評価しているところである。</p> <p>ただ選挙になぜ行かないかの理由の中には「面倒くさい」というのがある。この「面倒くさい」をまず取り除くことが重要ではないかと考える。投票のためだけではなく投票所に行きたくなるようなコトが必要だ。ただ利益誘導や買収に利用されることのないよう、サービス目的にならぬよう配慮して考えなければならない。</p> <p>次にあげる選挙の投票率向上対策の見解を訊く</p> <ol style="list-style-type: none">1) 投票済み票のデザインを市民から公募してその中から選定する。あるいはキャラクターデザインのもの起用するか。2) 本市独自の選挙啓発トイレットペーパー(既製品もあり)を本市の公共施設や設置協力店(駅、コンビニ、飲食店等、高校)を募り、選挙に対しての盛り上げを図る。3) 選挙が行われるまでに、選挙の投開票の手順を縮小版で市民(特に若い子育て世代)に再現を披露する。スライド上映などでもよい。4) 桂川イオンでの投票所を水曜日と土曜日の2日間にし、設置時間は今までのデータを勘案して短縮にして実施する。5) 投票所は学校が多いことから、選挙啓発作品(絵画、習字等)を展示することで、親子共で投票に出向き、展示品を見学する。第6向陽は永守重信市民会館に展示する。 <p>以上5つの提案の見解を訊く。</p>
------------------	---

一般質問通告書（分割）

質問者氏名	林 リエ	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. こどもの健全なる成長を市としてどう伴走していくのか	<p>未来への予測も難しい昨今、子ども達には自ら考え、決断し行動する力がますます必要となると同時に、自分が社会の一員であり、自分にも地域社会を変える力があるという自己肯定感を育むためにも、幼少期から住民自治に関わる体験が必要だと考える。京都府内で不登校が過去最多・高校生の自死が過去最高という現状を真摯に受け止め下記問う。</p> <p>① 令和7年1月25日新聞にて報道された勝山中学校学校の取組『地域の未来について一勝山中の未来の提言一』を本市では初めて実施。中学生が市長へ政策提言を行いました。教育委員会は、この活動を通じてこどもの学びをどの様に評価していますか？</p> <p>② 令和5年・6年と京都府が主催で試験的に（勝山・向陽小・5向小）設置された『校内教育支援センター』を現在どのように評価されていますか？現状と課題があれば教えてください。また今後市内全ての小中学校への導入は検討されていますでしょうか？</p> <p>③ 天文館を間借りして実施している不登校児の居場所『ひまわり広場』ですが、現状かなり手狭だと伺っています。間借りなので物も置けず、殺風景。子ども達が学び過ごす場所を間借りでよいのでしょうか？今後の方向性を教えてください。</p> <p>④ 勝山中学校が策定している『シラバス』は、どのような子ども達を育成したいか明確に表し、子ども達・保護者・教職員が同じ目的に向かって歩む学校の羅針盤です。本市の小中学校で『シラバス』を策定している学校は何校ありますか？また本市教育委員会としての『シラバス』があれば教えてください</p> <p>⑤ 世界中でいじめをなくす啓発活動として実施されている『ピンクシャツデー』をご存じでしょうか？毎年2月の最終水曜日に設定されており、今年は2月26日でした。2024年度一学期のいじめ調査では、府内いじめ件数が1万164件とのこと。いじめは子どもの問題のように捉えますが、残念ながら、政治の</p>		

	<p>世界でも、職場でも地域などでも大人のいじめは存在しています。まずは私たち大人から年に一度、2月の最終水曜日に市をあげて『ピンクシャツデー』を実施してはどうかと考えますが市の見解を聞かしてください。</p>
<p>2. 本市の防災力の現状を市民に伝える必要制性について</p>	<p>令和7年1月26日（日）年に一度の避難訓練（避難所開設訓練）が実施された。市内在住の『防災士』が初めて参加したこともあり、実施後の評価を含め今後の方向性を問う。また市民の防災意識は高まりを見せてはいるが、どこかで公助（行政や国）が何とかしてくれるだろうと考えている市民が多いことを危惧している。『出来ることは全部やる』とおっしゃった市長の言葉に期待している。</p> <p>① 令和7年1月26日の防災訓練では7か所で260名の参加があり、本市在住の『防災士』に初めて市として参加を呼び掛け16名が初参加。令和5年度・6年度、京都府の『防災士育成事業』では新たに15名の『防災士』が誕生しました。幾度と防災士が繋がるきっかけを作ってほしいとお願いしておりますが、今後防災士とどのように協働していくのか展望をお聞かせください。</p> <p>② 今回の避難訓練内容は、昨年と大きな変化はなかった。現在は一般市民が参加できる避難訓練もない。本市としての防災訓練最終ゴールはどのような姿なのか？また何年後に到達しようとしているのか？具体的に提示する必要性を感じるが市の見解を問う。</p> <p>③ 防災計画では、本市は避難所想定人数8,828名で、備蓄品は避難所で避難生活をする者のみを対象に、1日分を京都府と向日市で備蓄しています。様々な事情で自宅避難や車で避難される方の分は、基本的に含まれていないことから、市民にははっきり『公助では無理です。自助、自分で3日間分の備蓄品を確保してください』宣言してどうか？</p> <p>④ 令和5年度・備蓄品計画書には、今後備蓄品に高齢者や要配慮者への食事支援にも適しゼリータイプを導入すると記載されているが現状どのようなものを備蓄しているのか？また高齢者への敬老祝い品として、タオルやごみ袋を配布しているが、備蓄品にもなるゼリータイプの防災食を啓発活動も兼ねローリングストックとして活用してはどうか？</p>

一般質問通告書 (総括・分割)

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項 (質問の要旨)		
1、みんなで支えるヤングケアラー支援に取り組むことについて	<p>1、家庭内のデリケートな問題であり本人に自覚がないなど表面化しづらく、子どもの将来にわたる影響が心配される。本市でもヤングケアラーに特化した支援が必要と考える。</p> <p>① 本市では、現在、心配される子どもや相談があったヤングケアラーと把握された子どもに対しては、子ども家庭課を中心に関係機関と連携し、適切に対応されていると認識している。その取り組みと課題について伺う。</p> <p>② 本市でも、ヤングケアラー支援条例制定に向けて検討して頂きたいかがか。</p> <p>③ 今後、まずはヤングケアラーの実態調査を行って頂きたいかがか。</p> <p>2、子どもたちを取り巻く社会は、ヤングケアラーを始め、虐待、いじめ、自殺、性暴力などが社会問題となっている。子どもを守る視点からも、包括的性教育が極めて重要である。子どもたちを性暴力の被害者にも加害者にもさせないために、人権・ジェンダー教育としての性教育の推進が待ったなしである。人間の生理や生殖、避妊についての科学的な知識、互いに尊重し合う人間関係を築く方法、自分の心や体を傷つけるものから身を守るすべなどを十分に学び、どの子どもも幸せに豊かに成長してほしいと願う。向日市での性教育の課題と科学的な包括的性教育の導入についての見解を伺う。</p>		
2、小中学校及び市の公共施設のトイレにトイレットペーパーがあるように生理用品を設置することについて	<p>1、小中学校のトイレに生理用品を設置することについて</p> <p>① ミモザカードの存在は浸透しているのか、利用状況と周知方法について伺う。</p> <p>② 本市でも、ミモザカード使用と保健室での配布と併せて、すべての小中学校の女子トイレに生理用品を設置していただけないか伺う。</p> <p>2、長岡京市（3カ所）、大山崎町（1カ所）でも公共施設に生理用品を設置されている。本市でも、生理による女性のストレスや不安を解消し、性差にとらわれないSDGsのジェンダー平等の実現を図るため、急な生理等で必要とする方や物価高騰で経済的な支援の意味からも、配布のみならず、</p>		

	無償で使用できる生理用品を市内公共施設の女性用トイレに設置することを提案するがいかがか。
3, 高齢者のみなさんが生きがいをもって安心して暮らせるために	<p>1、お買物困難者問題について</p> <p>①市で取り組まれているサービスを本当に必要とする高齢者等の方々に、その情報が十分に伝わっていない場合があります。地域の買物支援サービスを冊子やパンフレットにまとめ、地域の買物困難者等に配布してはいかがでしょうか。</p> <p>② 本市のお買い物困難高齢者のニーズの傾向（移動手段がない、付近にお店がない等）を収集することが、問題解決につながると考えるが、把握されていることを伺う。</p> <p>③ 行政、地域住民、事業者やボランティアなど多様な関係者と連携・協力しながら、継続的に取り組むお買い物困難高齢者への支援事業（他市の事例から、空き家を利用しての販売所、出張販売など）の検討を進めていただきたいが市の見解を伺う。</p> <p>2、高齢者がお買い物などの行き帰りにちょっとした腰を掛けられそうなコンクリートなどの隙間を見つけ、休憩しておられる姿をよく見かける。生活する範囲内の様々な所に何とか工夫をして、ベンチの設置をすることが必要だと思いうがいかがか。</p>

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	長谷川 愛	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 一人暮らし高齢者の見守り支援について	<p>1. 即時異変検知システムの導入(倒れて動かない状況を自動検知) 24時間対応、駆けつけ支援の強化を自治体一部負担で補助、機器取付補助金として選択肢を増やすことはできないのか。</p> <p>2. 地域での見守りを強化する。横の繋がりを活用した支援。</p>		
2. 女性起業支援について	<p>1. 商工会の支援へつないでいく形で、女性起業家向けの補助金制度を創設し、資金面の支援はできないものか。</p> <p>2. 「女性活躍センターあすもあ」を拠点とした起業講座や販路開拓支援の強化(地域事業者との連携促進)はできないものか。</p> <p>3. 行政が持つ広報力や補助金制度を活用し、女性の起業を支援するための具体的な取り組みなどあれば伺う。</p> <p>4. 行政が女性向けの起業支援を行う必要性について、どのようにお考えか</p>		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野 直次	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 物価高から（暮らし）応援する財政運営について	<p>① 本市令和6年度に物価高騰地方創生臨時交付金は第一次、第二次に分けられていましたがその交付金総額及び政策ごとの支出額と効果は。</p> <p>② 今回の制度の変更として、平成13年以降充てられてきた臨時財政対策債発行はゼロになる。減った分の手立てと事業への財源確保はどのようにされるのか。加えて本市の地方債残高約146.4億円（本年度当初）のうち普通債で85億5900万円とその他分の中で臨時財政対策債の見込みは76億7359万円となっています。今後どう予想されるのか。</p> <p>③ 国の地方創生政策として「新しい地方経済・生活環境創生交付金」が2000億円（前年度比2倍）打ち出されていますが「新しい地方経済・生活環境創生交付金」についてどのように考えているか。</p>		
2. 不登校支援・フリースクール支援する取組みについて	<p>① 不登校の要因が何であれ子どもや保護者を支える学校の支援が必要です。本市では府教委から不登校加配の先生はひとりだけとお聞きしています。本市は不登校対策として「ひまわり広場」や勝山中校区内の向陽小、5向小、勝山中ブロックに約十名が通われていますが、学校連携も取組まれているが、さらに加配教員を増員出来ないか。</p> <p>② フリースクールを利用する家庭の負担は週5日間で月4、5万円と重くのしかかります。すくなくからずの保護者が仕事を辞めざるを得ない事態もあります。そうした精神的、財政的な負担に対し利用者負担軽減する財政支援は出来ないか。</p> <p>③ 認定外のフリースクールを利用した日は出席要件に満たないものとされ「登校していない日」とした扱いがあります。認定外のフリースクール利用した場合、市はどのように認識されているのか伺います。</p>		

	④ 子育て世代・若者に魅力のある施策推進となる(仮称)推進本部設置を提案しますがいかがでしょうか。
3.「ぐるっとむこうバス」の 利便性向上にむけた取組みについて	① 公共交通は高齢者はじめ市民の移動手段に大変重要です。市から阪急バスへ増便の要望や運転手確保を含めたバス事業者支援(補助)をすることについて伺います。 ② 5年間で約2倍の2万800人利用されています。しかし、まだまだ十分なものとはなっていません。身体障害者、病育手帳、精神障害者手帳の方は半額の100円です。よろこばれています。さらに敬老乗車証の運転免許証自主返納者への拡充できないか。 ③ 発車時刻が接近していることから寺戸町東山バス停は阪急バスが発車して2分から5分後の間に「ぐるっとむこうバス」がきますがそのバスには誰も乗っていません。実に行政効果のない走り方をしているのですが、接近している発車時刻をずらす等調整を求めます。 ④ 運行ルートは左回りしかありません。土日祝祭日に運行することと、右回り運行の課題と解決を検討すること。利便性を高めるため阪急西向日駅に「ぐるっとむこうバス」バス停設置の見込みを伺います。

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	青山まゆみ	所属党派名	日本維新の会・無所属の会
		質問事項（質問の要旨）	
1. ケアラー支援について		<p>（要旨） ケアラー支援やヤングケアラーの条例を施行している自治体も増えてきている中、本市におけるケアラー支援への考えや現状について伺いたい。</p> <p>①一番の社会課題として、「ケアラーがどんなケアをし、何に困り、何を求めているか」が上がっています。本市ではどのような課題が上がっているか伺います。</p> <p>②本市ではヤングケアラーの実態調査はされておられるのか。また今後、ヤングケアラーへの取り組みはされるのか伺います。</p> <p>③現在ヤングケアラーであろうと思われる児童や生徒にどのような対応をされ、連携しているか伺います。</p> <p>④ヤングケアラーへの支援や取り組みを進めるためには、何が課題となっているのかを教えてください。</p> <p>⑤本市の今後のケアラー支援や条例に対してのお考えを伺います。</p>	
2. マイナンバーカードについて		<p>（要旨） マイナ保険証だけでなくマイナンバーカードの益々の1本化が進められていくようです。</p> <p>①本市のマイナンバーカードによるマイナ保険証への移行の現状はどのようになっているのか伺います。</p> <p>②市民への移行を進める為、周知や啓発は今後どう取り組まれて行かれるか伺います。</p> <p>③社会保障審議会介護保険部会ではすでにマイナンバーカードと介護保険証を1本化する方針が示されています。そうなる前に、特に高齢者や障がい者の方々にはスムーズな移行を進めていただきたいが、それに向けて早めの対応など、スムーズな移行のために考えておられることがあるのでしょうか、伺います。</p>	

<p>3. ワンストップサービスについて</p>	<p>(要旨) ワンストップサービスは住民目線で窓口業務を改善する取り組みです。高齢化が進んでいる現在必要になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>① ワンストップサービスをどの様にお考えか伺います。</p> <p>② 国の提供しているマイナポータル上の「ぴったりサービス」を活用することでマイナンバーカードをお持ちの方は介護保険の一部を申請出来ます。マイナンバーカードと介護保険の1本化も鑑みワンストップサービスは可能と思われませんが、いかがでしょうか。</p>
<p>4. 防災関連について</p>	<p>(要旨) 安心出来る備蓄品は揃っているのか。また市民の防災への意識向上の向けての取り組みは進んでいるのか。</p> <p>(1) 備蓄品について 口腔機能が低下した方や嚥下困難者のために水分摂取が出来るよう、「とろみの粉」を置いて頂く、また感染対策や衛生対策として救急箱、マスク、手指消毒液も必要と思われませんがいかがでしょうか。</p> <p>(2) 防災への取り組みについて</p> <p>① 人的支援でも協力して貰える企業や団体との協定も必要と思います。協定の拡充は考えておられるか伺います。</p> <p>② 防災への市民の意識向上に向けて防災講習会や児童や生徒への出前講座に参加された皆様のご意見や感想はどのようなものがあつたのでしょうか。</p> <p>③ 市民の方々の危機対応能力を向上をして頂く為どのような取り組みが必要とお考えか伺います。</p>